

令和5年12月8日（金）



本日、町の学校給食共同調理場から栄養教諭を迎え、5・6年生を対象にめざみっこ給食の献立を作るための学習会を行いました。

1時間目に、子どもたちは栄養教諭から、5年生が学習する「五大栄養素」と、その栄養のバランスをとるための「赤の仲間（血や肉になる）」「黄の仲間（熱や力のもとになる）」「緑の仲間（体の調子を整える）」との関係を教わりました。そして、献立を作るにあたり、次のような条件を与えられました。

- ① 栄養のバランスを考えて、6つの食品群が全部入るようにすること。
- ② 汁物、主食、主菜、副菜、そこに果物やデザートを入れて考えること。
- ③ 季節にとれる旬の食材や、地産地消のために地域の食材を取り入れること。
- ④ いろいろな調理法や味付けにすること。
- ⑤ 食べる人の好みを考え献立のテーマを決めること。
- ⑥ 給食の予算（276円）を考えること。

2時間目は、ペアやグループになり、各自の献立テーマ、調理名、使用する食材の案を持ち寄り、いよいよ献立作成の話し合いを行いました。続きは、来週14日（木）に3時間目を行い、グループごとに発表予定です。

栄養教諭と町の学校給食共同調理場の皆さんは、様々な条件をクリアしながら、毎日町内の幼児、児童、生徒たちのために、安くておいしい給食を提供してくださっています。今日の学習活動は、そのことを子どもたち自身が体験的に学ぶことができるとてもいい機会でした。来週11日（月）からの「心を育む給食週間」につなげていきたいと思います。

令和5年12月12日（火）



昨日11日（月）に、秋田大学名誉教授、東京未来大学特任教授でいらっしゃる阿部昇先生をお招きし、国語科指導研修会を開催しました。

阿部先生は、国語の教師・国語科教育研究者として、40年にわたり、国語の授業の研究・実践をなさり、現在も精力的に、全国各地の小・中・高校や教育委員会等を訪問して、授業の助言・指導や講演・講座を行っていらっしゃる著名な先生です。今年度、日本教育公務員弘済会山形支部様から頂いた研究助成金と町教育研究会の研究補助費を活用させていただき、実現することができました。

阿部先生には、「他者と様々な意見を交流しながら自分の思いや考えを深めるよさを実感できる国語科の授業改善」と

いうテーマで、説明的文章教材を中心に研修を進めていただきました。本校の全国学力・学習状況調査の結果が、一昨年度、昨年度に引き続き、国語の「思考力・判断力・表現力等」（読むこと）に課題があったからです。

阿部先生からは、現行の学習指導要領が、「言語能力」を重く位置付けており、「言語の能力を付けない国語は国語ではない」と言えるくらい国語科の果たす役割が大きいということを指導していただきました。また、各教科の特質に応じた物事を捉える視点や考え方である「見方・考え方」は、知識や技能・スキルを超えたより高次の学力・能力であるということも指導していただきました。その上で、説明的文章を読む際に、言葉による見方・考え方を働かせるということはどういうことかを解説していただきました。文章の全体構造を俯瞰的・文脈的に読むために、カテゴリーや対応関係に着目する力、分析する力が大事だということも、全国学力・学習状況調査や、阿部先生が編集委員を約20年お勤めになられている光村図書出版の教材を使って、実践的に学ぶことができました。お忙しい中、遠路逢々お越しいただきました阿部先生に、この場をお借りして感謝申し上げます。

本校の学校教育目標の重点の一つである「確かな学力」の各学年でめざすことものの姿は、国語科の学習指導要領で目指す資質・能力の思考・判断・表現の観点がベースになっています。今後とも、日常における人と人との関わりの中で、互いの立場や考えを尊重し、言葉を通して正しく理解したり適切に表現したりする力を高めていきたいと思いを。また、言葉を手掛かりにしながら論理的に思考したり想像したりできるようにしていきたいと思いを。



令和5年12月22日（金）



本日22日（金）に、15名の子どもたち全員がそろって、無事に87日間の長い2学期を終えることができました。

終業式の校長の話では、「学校アンケートをもとにして、2学期の学習と生活を振り返り、3学期から来年度に向けてがんばることをつかもう」というめあてを設定しました。そして、教頭が取りまとめた今年度の学校評価をもとに、学校経営の重点である「確かな学力」《進んで学ぶ子ども》、「豊かな心」《心優しい子ども》、「健やかな体」《たくましい子ども》について、2学期の学習や生活を中心に振り返りました。そして、「令和6年度に自信をもって進級・進学できるように、3学期から目標をもって粘り強く取り組もう。そのために、冬休みを気持ちよく過ごそう」とまとめました。

終業式終了後、ホールで引き続き、生徒指導担当から冬休みのくらしについての指導がありました。夏休みに近い17日間という長い冬休みを気持ちよく過ごすために、【せ】

【か】【い】【の】【ひ】【と】【み】という合言葉で指導しました。【せ】は生活リズムについて、【か】はお金について、【い】はいたずらについて、【の】は乗り物（スキーを含む）について、【ひ】は火の取り扱いについて、【と】は飛び出しについて、【み】は水（雪を含む）の事故についてです。最後に、ネット依存についても、【リ】【ア】

【充】という合言葉で指導しました。【リ】はリミット（制限）を守ること、【ア】はアバター（キャラクター）から離れること、【充】は心を充電するなら親しい人と会話することです。リアルな世界を充実させて楽しい冬休みを過ごしてほしいという願いが込められていました。

6年生が、ホールの後片付けをして教室に戻る際、「2学期はあっという間でした」と清々しい顔で話しかけてきました。150周年記念運動会に始まり、3回にわたり「手ノ子八幡神社獅子舞」を発表するなど、充実した2学期を過ごすことができたからだと思います。

保護者の方にご協力いただき、「手ノ子八幡神社例大祭」「西部地区・中津川地区公民館文化祭」「めざみの里音楽祭」「創立150周年記念式典オープニング」の動画をダイジェスト版にしました。冬休み中、家族や親戚の方々と一緒に視聴して、2学期の学校生活を振り返ってほしいと思います。

令和6年1月9日（火）



今日から3学期がスタートしました。おかげさまで、17日間の冬休みは、誰ひとり事故にあわず、大きな怪我も無く生活できました。本日は、全校児童15名の元気な顔を見ることができてとても嬉しく思いました。

校長の話に入る前に、子どもたちと教職員みんなで、元日の能登地震に関わって犠牲になられた方々に、謹んで哀悼の意を表し、黙禱を捧げました。その上で、「今年もよろしく申し上げます」という挨拶で新年を迎えました。

校長の話では、まず、去年の2023年の卯年は手ノ子小にとって、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍した特別な年だったことを、今年度の新任者が忘年会のために作った10大ニュースのスライドで振り返りました。それに加えて、昨年12月25日（月）のクリスマス日に、メジャーリーガー大谷翔平選手からのグローブと、飯豊町教育委員会からのボールのプレゼントについて、さくらんぼテレビや山形新聞の取材内容をもとに報告しました。

次に、昨年度も、新任披露式・1学期始業式や卒業式で、大谷選手の話を取り上げてきたことを4～6年生に想起してもらいました。そして、「自分が興味をもったこと、新しいことに対しては、失敗を恐れず、あきらめずに挑戦してほしい」という、校長として子どもたちに伝えたい願いを改めて確認しました。

最後に、今年の干支である「甲辰」の意味や、去年はクラブ活動で取り組み、総合的な学習の時間にも歴史について学習した黒獅子と竜（龍）との関連について説明しました。そして、令和8年度の「いいでの森学園」開校に向けて、「竜が水や雲、翼を得るように、一人一人が持っている力を存分に発揮して、目標の達成を目指しましょう！」と呼びかけました。



令和6年1月17日(水)



本日、避難訓練を実施しました。年度当初は先週12日(金)に実施予定でしたが延期していました。例年、冬季は積雪により使用できる非常口が限定されてしまうのですが、今年度は暖冬で積雪がほとんどない状態だったからです。週末の夜から昨日まで断続的に降雪があり、本日晴れる予報だったため、急遽時間割を変更して実施しました。

教頭が火災発生場所の確認から火事ぶれをし、直接避難を促したことで、子どもたちは体育館玄関を通過して、より速く校舎北側の駐車場に避難することができました。

校長からは、まず、29年前の1月17日は、阪神淡路大震災という大災害が起きた日であることを話しました。そして、今回が火事による避難訓練だったことに関連付けて、元

日の能登半島地震での輪島市の大規模火災と、2日の日航旅客機と海上保安庁の災害支援機の衝突事故による火災について話しました。その際、火事による避難で一番大事なこととして、「煙を吸わないようにハンカチやマスクで口を覆い、体を低くして避難すること」を取り上げました。

次に、積雪時の避難について、普段の避難と違う所を子どもたちに尋ねました。積雪時は、屋根の雪が落ちてこないか頭上に注意するとともに、地面に滑りやすくなっている場所がないか足元にも注意して歩くことを再度確認しました。その最中、体育館の屋根に積もった大きな雪の塊が、軒下に勢いよく次々に落ちてくる恐ろしい様子を目の当たりにしました。頭上に注意しながら避難する大切さを感じ取ることができたと思います。

最後に、もし地震による火事で西部地区公民館に避難しなければならなくなった場合、杉林に積雪があると参道を通るのは危険なため、雪をかき分けて畑を通らなくてはいけないことを伝えました。そして、停電や断水が続く中、今着ている服で寒さに耐えなくてはならないことを想像してもらいました。日頃から温かい服装を心掛けて、ズボンを濡らさないように長靴を履くことが、冬季の災害への備えにもなることを気付いてほしかったからです。

今後とも、子ども一人一人が、地震や火災などの災害の危険に気付き、自ら考え、安全に行動できるように見守ってまいります。

令和6年1月26日（金）



今シーズンは、2月2日（金）に5年ぶりに開催するスキーフェスタと、2月11日（日）の町スキー大会に向けて、3回のスキー教室と7回の放課後クロカン練習を計画しておりました。しかし、今年度は夏の猛暑に続き冬の暖冬による積雪不足で、スキーに関わる取組の見直しをせざるを得ませんでした。手ノ子スキー場のシュレップリフトの修理が終わったのに、とても残念でなりません。

今季最強の寒波により、今日ようやく1回目の放課後クロカン練習を実施することができました。久しぶりでもすぐに感覚を取り戻し、スムーズにグラウンドをスケータリングする子どもたちを見て、「さすが手ノ子小の子どもたち」と感心しました。町スキー大会の実施判断は30日（火）ですが、大会の有無に関わらず、残りの練習を楽しく充実したものにし、来年度につなげたいと思います。

また、手ノ子スキー場からも、今日の時点で、「簡易リフトの斜面は十分な積雪量だが、シュレップリフトの方の斜面は、圧雪車で斜面整備をしたところ、上部斜面に一部ブッシュが出ている箇所があるが半分より下の斜面は滑走可能」と回答いただきました。残念ながら、2月2日（金）のスキーフェスタを中止しましたが、スキー教室に変更して1日（木）と2回確保し、技能の向上につなげたいと思います。



令和6年1月31日（水）



本日、来年度入学予定の新入児を対象に、「1日入学」を行いました。お子さんを引率してきてくださった保護者の皆様に、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

校長からは、「手ノ子小学校は、全校児童15名と飯豊町で1番小さい学校。3月には6年生4名が卒業するけれど、4名の皆さんが入学してくると15名に戻るのでうれしい。4月から、見たり、聞いたり、触ったり、においをかいだり、味わったりしながら、楽しく勉強や運動をしよう。今から楽しみに待っている」と新入児に言葉をかけました。

また、保護者には、令和8年度の飯豊の森学園開校に向けて、今年度から既に取り組んでいる「幼小中一貫教育の推進」を着実に取り組んでいくこと、特に、他校との交流多く計画していることを伝えました。そして、「確かな学力」「健やかな体」と共に、「いいでの森学園」の校名に込められた願いである、一人一人の個性や考え方を認め合い、受け入れられるような「豊かな心」、飯豊町を愛し、誇りに思う心を育てていくことを誓いました。

校長の挨拶後、会議室からホールに移動し、全校児童による体育のマット・跳び箱運動とチャレンジタイムの発表を、新入児と保護者に見ていただきました。児童たちは、上級生としてカッコいい姿を見せようと、練習以上の力を発揮することができました。発表後、新入児一人一人に、「すごかった」「カッコよかった」といった感想をもらって、とても満足した表情をしていました。全校児童にも、4名の新入児童にも笑顔があり、ホールはとても温かな雰囲気に包まれました。

保護者対象の入学説明会の時間を利用して、新入児と5年生が交流しました。5年生の進行で、体育館で鬼遊びをしたり、カルチャールームで読み聞かせやゲームをしたりして楽しく過ごしていました。

新入児にとっては、4月の入学が待ち遠しくなるような、上級生へのあこがれや親しみをもつ機会となりました。全校児童にとっても、これまでの準備や練習も含め、進級して1年生を迎える意識を高めるよい機会となりました。